

平成26年度  
可搬ポンプ等に関するアンケート調査報告書



浜松市浜北区自治会連合会  
調査研究委員会

## 浜北区自治会連合会調査研究委員会 可搬ポンプ等に関するアンケート調査集計結果

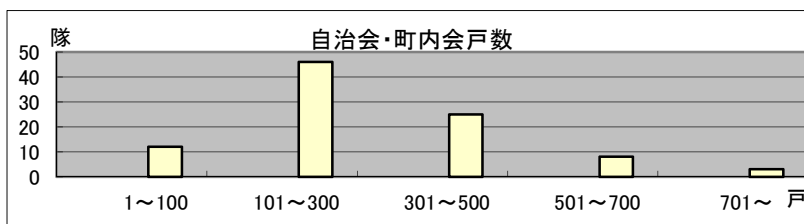
1 貴自治会・町内会の戸数を教えて下さい。集合住宅の場合は、建物一つとして数えて下さい。

戸数(戸)	(隊)
1~100	12
101~300	46
301~500	25
501~700	8
701~	3

1 最小

900 最大

合計 94

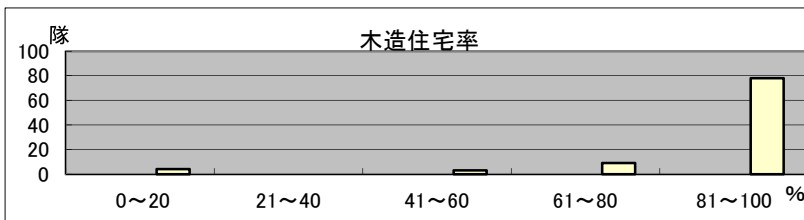


木造住宅率(%)	(隊)
0~20	4
21~40	0
41~60	3
61~80	9
81~100	78

0 最小

100 最大

合計 94



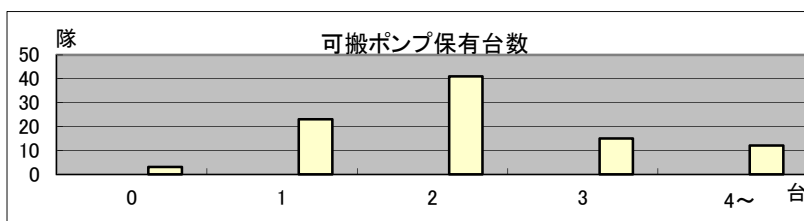
2 浜松市より貸与されている可搬ポンプ台数及びホースの本数を教えて下さい。

可搬ポンプ(台)	(隊)
0	3
1	23
2	41
3	15
4~	12

0 最小

7 最大

合計 94

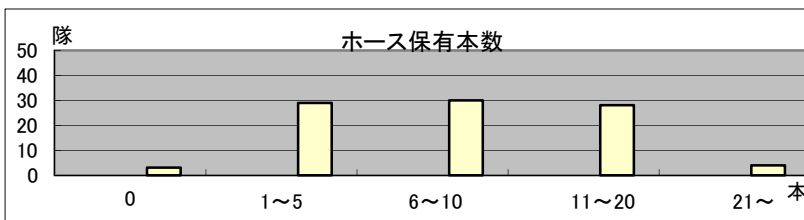


ホース(本)	(隊)
0	3
1~5	29
6~10	30
11~20	28
21~	4

0 最小

33 最大

合計 94



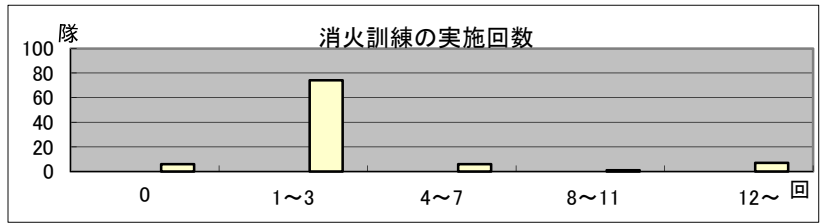
3 年間の消火訓練の実施状況及び可搬ポンプの点検回数を教えてください。

消火訓練(回)	(隊)
0	6
1~3	74
4~7	6
8~11	1
12~	7

0 最小

12 最大

合計 94

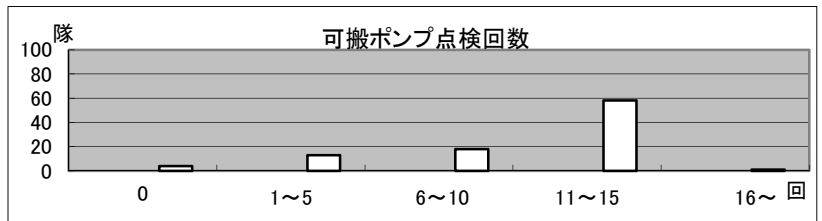


ポンプ点検(回)	(隊)
0	4
1~5	13
6~10	18
11~15	58
16~	1

0 最小

24 最大

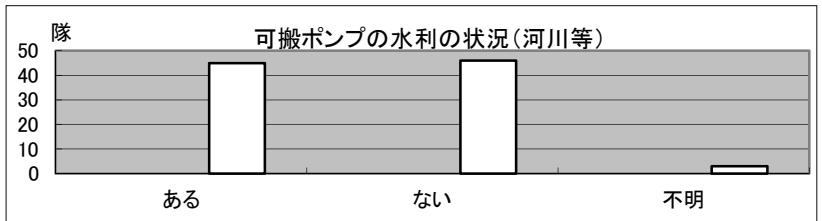
合計 94



4 有事の際の可搬ポンプ用の水利がありますか。該当するものに○をつけて下さい。

自然水利の状況	(隊)
ある	45
ない	46
不明	3

合計 94



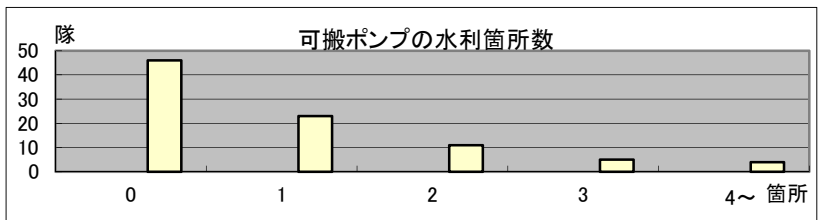
自然水利の箇所	(隊)
0	46
1	23
2	11
3	5
4~	4

0 最小

5 最大

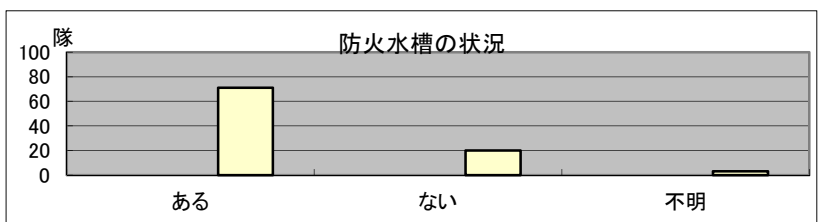
5 不明

合計 89



防火水槽の状況	(隊)
ある	71
ない	20
不明	3

合計 94



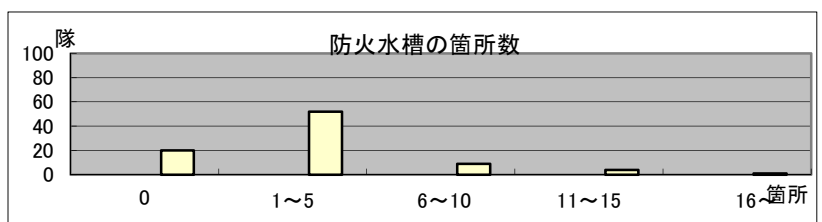
防火水槽の箇所	(隊)
0	20
1~5	52
6~10	9
11~15	4
16~	1

0 最小

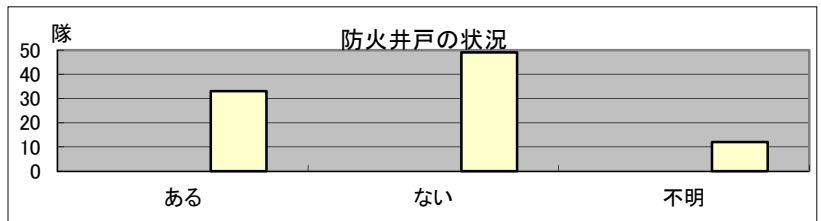
16 最大

8 不明

合計 86

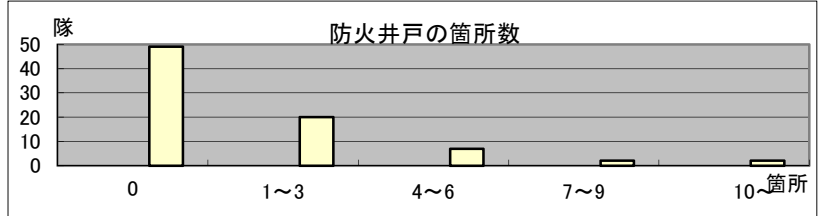


防火井戸の状況 (隊)	
ある	33
ない	49
不明	12
合計	94

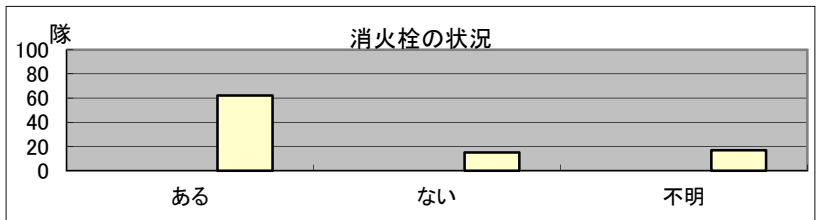


防火井戸の箇所 (隊)	
0	49
1~3	20
4~6	7
7~9	2
10~	2
合計	80

0 最小  
18 最大  
14 不明

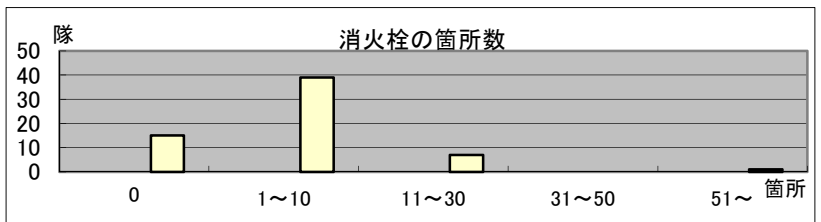


消火栓の状況 (隊)	
ある	62
ない	15
不明	17
合計	94

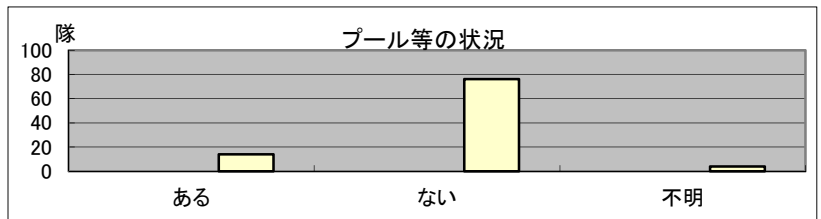


消火栓の箇所 (隊)	
0	15
1~10	39
11~30	7
31~50	
51~	1
合計	62

0 最小  
54 最大  
32 不明

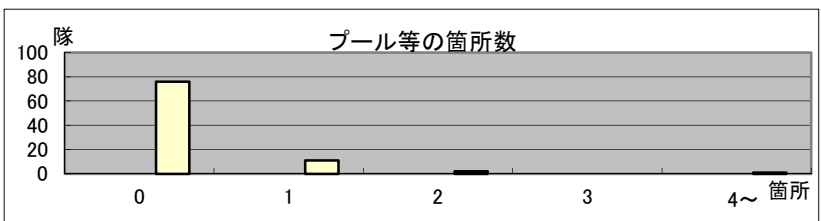


プール等の状況 (隊)	
ある	14
ない	76
不明	4
合計	94



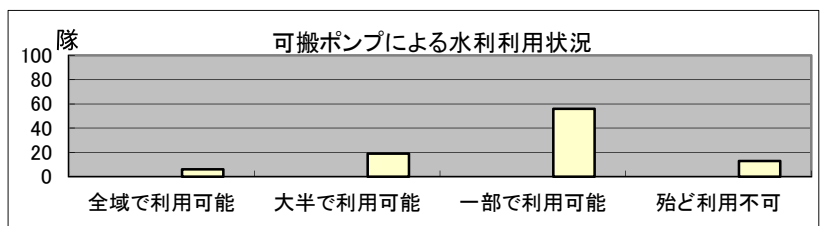
プール等の箇所 (隊)	
0	76
1	11
2	2
3	
4~	1
合計	90

0 最小  
4 最大  
4 不明



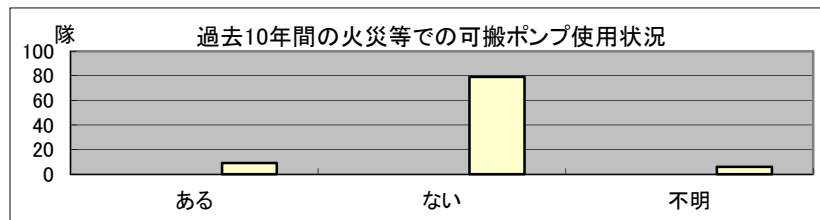
5 これらの水利により、可搬ポンプを地区の全域(全戸)で利用出来ると思いますか。  
 該当するものに○をつけて下さい。(可搬ポンプ100mまで延長できるものとする。)

水利利用の不可	(隊)
全域で利用可能	6
大半で利用可能	19
一部で利用可能	56
殆ど利用不可	13
合計	94



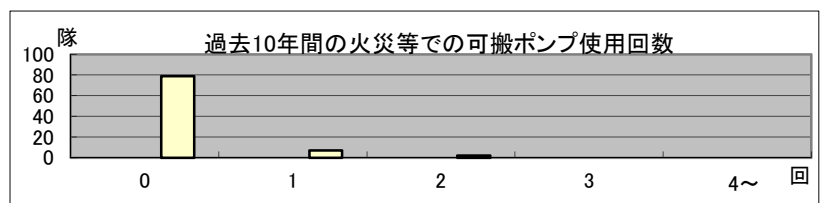
6 過去10年間で、火災等で可搬ポンプを使用したことがありますか。

ポンプ使用状況	(隊)
ある	9
ない	79
不明	6
合計	94



使用回数(回)	(隊)
0	79
1	7
2	2
3	
4~	
合計	88

0 最小  
 2 最大  
 6 不明



## 7 その他お気づきの点やご意見等

- ・「宝の持ち腐れ」です。初期消火の手段を再考すべき。「いつでもどこでもだれでも使えること」
- ・自然水利(小松川)がありますが、水位不足と思います。
- ・本町自衛消防組が組織している。ここ10~15年前より出る人が大きく減少している。このままだと活動ができなくなる。
- ・当防災隊には、不要です。
- ・現在水利が1ヶ所しかないので、可搬ポンプが効果を発揮する場面はあまりないとは思いますが、染地台のような新興住宅地で考えられる被害は倒壊ではなく、圧倒的に火災であると思われます。したがって、やはり可搬ポンプは、設置してあれば有事の際、何かの助けになるかもしれません。水利を増やすことは、不可能なのでホースの増設等、工夫をしてみたいかでしょうか。
- ・平成25年に返却
- ・可搬ポンプ等を保管している防災倉庫が崩落の恐れがある災害危険箇所(第7公園)に設置されている。
- ・可搬ポンプのかがりが悪く重い。(何回もやる。)
- ・可搬ポンプでの消火など色々総合して無意味と思われる。
- ・行政における防災資機材の交付や補助は、各町内会の地域実態に合致したものでなければ無駄金を使うことになる。可搬ポンプで言えば、交付を受けた自身も含め、行政や関係者全員の猛省が必要。
- ・2サイクルエンジン用混合ガソリン使用により臭気が近所迷惑となる。点検による騒音問題発生。非常用発電機は4サイクルで普通ガソリン使用。2種類の燃料給油間違いの恐れあり。
- ・防火井戸は1ヶ所あるが、水位が下がっていて使用できない。
- ・消火栓、防火水槽を実際に使った訓練も必要ではないか？
- ・防火水利マップを定期的に防災隊に配布してほしい。
- ・現実役に立たない可搬ポンプのアンケートいつまでするのですか。次の対策を急いでください。
- 個人情報と氏名情報(家族情報)の把握
- ・最近当地にもアパートが増えております。そのため住民者数の把握ができておりません。いざ災害の発生となった時、住民の皆様の安否確認をどうしたらできるのかという問題があります。名簿提出をお願いしても個人情報だから出せませんと言われますし、地域住民との交流が薄い。転入時には住民登録を行うわけですから、その時、市から自治会にも行って登録してくださいとか言っていたら少しは把握できるかなと思います。
- 防災訓練のあり方
- ・最近、全国津々浦々で大雨による重大災害が連続で発生しております。これに伴い避難所の開設等、住民を安全に避難させる方策を検討されてはどうかと思います。当地で行っている防災訓練は、あくまでも東海及び南海地震のための訓練であって、台風及び大雨に対するものではありません。より身近な災害に対する訓練も必要かと思えます。大雨の被害はその時にならないと、まさか自宅付近が冠水するなんて言う事になりかねません。事前に冠水マップ等による把握が必要かと思えます。
- ・各地の被災者状況をテレビ等で拝見すると、避難所の開設が意外と早い時期に行われているのが良く分かります。果たして当地ではどうなのかと思えます。防災訓練の中に避難所開設・運営などの訓練を入れてほしいのか、現状のままでは被害が発生した時には制がむづかしいと思います。
- ・消火栓のデータがありません。
- ・消防団に会費を納入しているが、火が発生した場合、消防団が役に立つのか分からない。会費を消火栓の追加に使用したい。
- ・夏の間、農業用水の水がある時は間に合います。
- ・ホース1本でも水圧が足りない。
- ・消火後の残り火対策として使用。
- ・火災の際、1度現場まで運んだことがある。しかし、消防署から近寄らないように止められてしまった。水源も使えない。消火栓の設置場所をつかんでいないので、いくつあるか分からない。
- ・可搬ポンプが2サイクルなので煙が出るので4サイクルにしてほしい。
- ・267戸の内、空き家が7戸。消火栓は自治会では使えない。
- ・防火水利の看板が、一部不明確な所もあり、分かりにくいと思いました。
- ・河川とはいっても水が常に豊富にあるわけでもなく可搬ポンプでの消火というよりも防災の方に力を注いでほしい。